



挑戦する勇氣 ～ 先輩の定義＝失敗をやり直した経験の多い人 ～

下の文章は、「挑戦する勇氣」というタイトルです。校長先生が中学 3 年生時の担任の先生が、5 年前、大阪府内小学校の校長先生であることを知り、その学校のホームページを閲覧していて、この文章を見つけました。当時、恩師の校長先生とは電話で話しました。高校の合格発表を報告しに行って以来の、三十数年前の私を覚えてくださっていました。「私も校長になりました」と電話越しでしたが、当時の思い出を懐かしく語り合いました。

ここ 1～2 週間で、何かしらの失敗やミスがなかったとしたら

それは、新しいことに挑戦していなかったのかもしれない

誰でも新しいことや、自分のキャパシティ以上のことをやれば

失敗したり、みっともない自分と直面することになる

失敗すること自体が悪いのではなく、失敗したことで言い訳して、

自分を責めて、落ち込んで不調になってしまうことが問題

そもそも失敗やミスをすることでしか前には進めないし、

学べないことがたくさんある

そして、新しいことに挑戦しなくなってしまう原因のひとつが

心のどこかに完璧主義があること

完璧主義になると、恥をかくことを極端に恐れて守りにはいつてしまう

新しいことをしようと思わなくなる

完璧主義にならずに、よくわからなくても前に進めることが大事

あとは、失敗を学びに変える気持ちで

楽しみながら新しいことに挑戦すること

5 年 学校医さんによる出前授業 ～理科「体のしくみ」～



年度当初、健康診断で来校いただいた際に、校長室でやりとりした話から、9 月 1 日（火）、今年度、学校医として本校に関わってくださっている片山 恒先生が、5 年生理科の出前授業のゲストティーチャーとして来校してくださいました。専門は循環器内科ということで、特に心臓の働きや血液の流れ、血管など専門的なお話の数々に、児童は食い入るように話を聞いていました。触診や聴診器を使った聴診も体験でき、大変有意義な時間となりました。

5年 ボッチャ体験 ～障がい理解教育～



9月3日(木)と4日(金)、5年生がボッチャ体験をしました。指導者として、大東市スポーツ推進委員の方々が複数名来てくださり、ルール等、丁寧に教えていただきました。このスポーツの特長は、いろいろな世代が無理なく交流でき、それでいて疲れのない、そしてとっても盛り上がるゲーム性があります。校長先生も5年生とチームの一員として出場しましたが、心理戦も相まって白熱した展開となりました。わずかなスペースと道具があれば誰とでも楽しく交流できるボッチャ、「生涯スポーツ」としても大変魅力的です。

火災避難訓練

9月14日(月)、火災避難訓練を実施しました。本訓練のめあては、「正しい避難の方法について知る」

「火災発生時、被害を最小限に食い止めるため、迅速に対応して安全な場所に避難できるようにする」です。

本校の避難経路や校内各所の安全性につきましては、7月に大東四條畷消防本部及び市教育委員会事務局により一斉点検を実施していただきました。また、「初期対応」の重要性から今回新たに学校独自に「火災初期対応フロー」を作成し、いざというときの教職員の行動様式をわかりやすくしました。訓練では「お・は・し・も」を意識するとともに、引き続き学校全体で防災意識を高めていくことを確認しました。



1学期末に実施された、総勢17名による「火災予防に関する緊急点検」の様子

9/18(金)は授業参観・懇談会

2学期初めての参観日・懇談会となります。また、6年生は修学旅行説明会を開催します。久しぶりに保護者の皆さまとお会いできること、教職員一同とても楽しみにしております。